

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		11 03 06	中期総合計画主要施策番号		5-09	担当課	部・課	建設部 道路管理課		
事業名		除雪・雪寒地域建設機械整備事業 (公共・県単〔道路管理〕)					内線	3398		
							E-mail	michikanri@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・除雪体制を整え、冬期の産業振興や一般交通の安全で円滑な道路交通を確保する。 ・道路除雪機械の計画的な更新、確保を行なう。								
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] ・県下全域が寒冷地域、約1/2の地域が積雪地域に指定されているうえ、各年の気象状況により必要額の変動が大きく、除雪の水準を一定に保つ必要がある。 ・民間機械については経営の悪化等から保有、更新が困難な状況である。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・道路利用者からの除雪、凍結路面の解消に対する要請が依然として高い。また、高齢化の進展等に伴い歩行者空間確保の要請も年々増加している。 ・県保有機械の老朽化が進むとともに、除雪機械の半数以上は民間保有機械に依存している。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・冬期の産業の振興及び民生の安定を図るべく、現状の除雪水準の確保を図る必要がある。 ・計画的に除雪機械を更新し、除雪体制を確保する必要がある。								
		事業内容	道路の除雪及び凍結防止剤散布作業 (補助率: [国] 2/3、[県] 1/3) 道路除雪のための除雪機械の購入 (補助率: [国] 2/3、[県] 1/3)							
		実施期間	S31 ~		根拠法令等	雪寒法、S47.1.10建設省機発496号等				
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	・現状の除雪水準を保ち、冬期の安全、円滑な道路交通を確保する。 ・県保有老朽化機械の更新を図り、除雪体制を確保し、冬期間の安全な道路交通を確保する。		・例年どおりの除雪レベルを保つ除雪計画を作成し、除雪及び凍結路面の解消を図る。 ・老朽化した除雪機械の更新を平成20年度は16台行なう。			・除雪基準の徹底等により、計画に基づく除雪を行い、冬期間の道路交通を確保した。 ・16台の除雪機械を更新し、除雪体制の確保を図った。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	4,078,437	3,316,851	3,255,000	国庫・県単 公共・県単			
	決 算 額 (B)		千円	2,802,008	3,316,851		実施方法 直接			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	2,144,176	2,624,287	1,990,667	歳出節別内訳等 H20予算現額(最終予算額 + 繰越額) 3,316,851 千円			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	25.00	25.00	25.00	(単位: 千円) 1箇所当り平均工事期間 0.3 年			
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	2,802,008	3,316,851	3,255,000				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	冬期交通確保(除雪)延長		km	4,531	4,526	4526				
	件保有台数		台	563	572	577				
	除雪機械保有率		%	43.7	43.7	43.9				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・高齢化の進展等に伴い、歩行者空間確保の要望は増加している。 ・冬期路面確保に対する要請は高い。 ・民間保有機械の老朽化が進んでおり、今後保有台数の減少が見込まれ、除雪体制確保の検討をさらに進める。 ・経費の一層の縮減に取り組んでいる。 ・歩道除雪については、地域等との協働について検討する必要がある。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
課題の総括		・除雪業務を担ってきた地元建設業者の中には経営が悪化しオペレーターの確保や機械の保有、更新が困難な業者も多く、除雪体制の確保の検討をさらに進める。 ・除雪機械は構造、使用期間等特殊な機械であることから、県が主体となり保有する必要があり、機械の更新、増強は除雪事業の円滑な執行のためには必要不可欠である。 ・歩道除雪については、地域との協働により除雪体制を整備する等の検討を行なう必要がある。								